

STの方向け☆発達協会主催 2020年「春のセミナー」開催のご案内

お申し込みお待ちしております！

発達協会 HP : <http://www.hattatsu.or.jp/>

2月1日(土)

A WISC-IVを用いた評価法と指導・支援への活かし方—報告書を書くときのポイントも含めて

子どもへの指導・支援において、適切な評価は欠かせません。心理検査は客観的な指標として活用されていますが、取ることはもちろん、その解釈や活かし方には十分な知識や経験が必要です。このセミナーでは、代表的な心理検査のひとつである WISC-IV を取り上げ、その結果の読み取り方、活かし方をお伝えします。また併せて、保護者等への結果説明、報告書を書くときのポイントもお伝えします。検査方法は取り上げません。検査を取らない方のご受講もお受けいたします。

1 WISC-IVの結果の読み取り方

安住ゆう子先生 (NPO フトゥーロ LD 発達相談センターかながわ)

2 検査結果や観察評価から導く、学習課題と生活面への支援

安住ゆう子先生 (NPO フトゥーロ LD 発達相談センターかながわ)

3 結果説明と報告書を書く時のポイント

安住ゆう子先生 (NPO フトゥーロ LD 発達相談センターかながわ)

2月2日(日)

D 吃音や場面緘黙のある子どもの育ちを支える—「話したいのに上手く話せない」子への対応

話したいのに、上手く話せない子がいます。大人は、「話さない」のではなく、「話せない」と理解する必要があります。このセミナーでは、上手く話せない背景として発音の未熟さ(機能性構音障害)、吃音、場面緘黙を取り上げます。一部の講義では、発達障害との関連についても触れる予定です。子どもが安心して学び、遊び、暮らすために、心理、言語の視点から子どもへの理解を深めます。

1 発音が未熟な子への支援—機能性構音障害への保育・教育の場での対応

三木江理奈先生 (個別学習エイル)

2 吃音のある子の育ちと支援者に求められる対応

小林宏明先生 (金沢大学)

3 場面緘黙のある子への理解と支援—自閉症スペクトラムとの関連も含めて

高木潤野先生 (長野大学)

☆その他にも様々なテーマで講座を行っております。詳しくは HP をご覧ください。

★お申し込み方法

《申し込み》お電話・FAX・発達協会ホームページから、お申し込みいただけます。

・電話 : 03-3903-3800

・Fax : 03-3903-3836

・HP : <http://www.hattatsu.or.jp/>

《ご注意》・同じ日程で開催されるセミナーを申し込むことはできません。

・申し込みの殺到が予想されるセミナーもございます。お早めにお申し込み下さい。

《時間》各日 10:15~16:20

《定員》各 250 名 (定員になり次第、随時締め切ります)

《会場》東京ファッションタウン（TFT）ビル東館 9階研修室
東京都江東区有明3-6-11

《受講料》各10,000円（税込）（会員9,000円（税込））